

受診方法の確認

同封の受診券をご確認ください

受診券がないと新潟市の各種検診が受けられません。
すべての検診が終了するまで、紛失に注意しましょう。

受診券に記載されている年齢は令和7年3月31日現在の年齢です。

受診時に検診実施機関が受診日・実施機関名を記入します。

市国保…**緑** 後期高齢…**ピンク**
それ以外の保険…**青**

※保険証が変更となった場合は受診券も変更手続きが必要です。
ただし、市国保から後期高齢への変更はそのまま使用できます。

step 1 実施医療機関等に直接予約



step 2 検診を受診

集団検診は検診会場、施設検診は予約した医療機関で受診

持ち物 受診券 健康保険証 (健康保険証登録したマイナンバーカードも可)
 自己負担金

集団 個人記録票 (胃・肺がんの集団検診に必要)

施設 質問票 (特定健診を受診する場合に必要)

step 3 結果を確認

集団 受診した区の区役所健康福祉課より結果通知を郵送
(胃がん・乳がん検診は1か月、肺がん検診は1か月半程度かかります)

施設 検診実施機関が結果をお知らせ

(令和7年3月31日現在の年齢です)

★の料金は、新潟市国民健康保険加入者は半額となります。
※70歳以上の車いす利用者等は、乳がん検診(施設)を受診できます。

新潟市の各種検診メニュー

検診名		対象年齢	40歳	41～59歳	60～69歳	70歳以上
 特定健診	施設	40歳以上	500円	500円	無料	無料
 肺がん(結核)検診	集団	40歳以上	無料	無料	無料	無料
 胃がん検診	集団	バリウム	無料	1,000円★	1,000円★	無料
	施設	バリウム	無料	45歳、50歳以上 2,000円★	1,000円★	無料
		内視鏡	40歳、45歳、 50歳以上の 偶数年齢	無料	45歳、50歳以上の 偶数年齢 2,000円★	偶数年齢 1,000円★
 大腸がん検診	施設	40歳以上	無料	1,000円★	1,000円★	無料
 乳がん検診	集団	40歳以上の 偶数年齢の女性	無料	偶数年齢 1,000円★	偶数年齢 1,000円★	偶数年齢 無料
	施設	40～69歳の 偶数年齢の女性	無料	偶数年齢 1,000円★	偶数年齢 1,000円★	※
 子宮頸がん検診	施設	20歳以上の 偶数年齢の女性 (20歳無料)	1,000円★	偶数年齢 1,000円★	偶数年齢 1,000円★	偶数年齢 無料
 前立腺がん検診	施設	50歳以上 5歳間隔の男性		50・55歳 1,000円★	60・65歳 1,000円★	5歳間隔 無料
 肝炎ウイルス検査	施設	1度も受けたこと がない方	1度も受けたことがない方 無料			
 ピロリ菌検査	施設	40歳	1,000円			

検診メニュー

特定健診

がん検診

集団検診について

集団検診日程表

医療機関名簿

歯科健診

●健康保険証の種類確認について

新潟市の健(検)診は健康保険証の種類により自己負担額が異なります。受付の際、健康保険証の種類確認を行いますので皆様のご理解とご協力をお願いいたします。なお、受診後の返金はいたしかねます。

 **お口の健康長寿健診**

詳しくは
P21・22を
ご覧ください。

●無料券の交付について

市民税非課税世帯の方

当該年度(確定するまでの間は前年度)非課税世帯の方は、事前に申請書を提出いただくことで無料券を交付します。

受診の2週間前までにお住まいの区役所健康福祉課に申請書を直接または郵送で提出してください。申請書は健康福祉課に設置しているほか、市のホームページ(「各種検診」ページ)でダウンロードできます。申請には健康保険証(健康保険証登録したマイナンバーカードも可)が必要となります。

〈無料券申請の前に〉

- ・市・県民税の申告をせず課税情報がない方が世帯内にいる場合、市民税非課税世帯と認定できません。未申告の場合は税担当窓口で申告後、1か月程度間をあけてから無料券の交付を申請してください。
- ・令和6年1月1日時点で新潟市に住民票がなかった方は、1月1日時点で住民票があった市町村の課税証明書を提出してください。

生活保護受給者、中国残留邦人の方

受診の際に受給証明書が必要です。各区健康福祉課または保護課で事前に証明書の交付を受けてください。(検診ごとに1枚ずつ必要です。)

特定健診について

お問い合わせ先 新潟市保険年金課
健康支援推進室
☎ 025-226-1075
FAX 025-226-4008 (電話でのお問い合わせが
困難な方専用)

特定健診とはメタボリックシンドロームの予防・解消に重点をおいた健診です。

自覚症状はなくても「からだ」の状態を確認するよい機会となります。
年に一度の習慣として、ぜひ特定健診を受診し、健康管理に役立てましょう。

- 対象者** 新潟市国民健康保険加入者、新潟県後期高齢者医療制度加入者、生活保護受給者等
- ※特定健診の受診方法は、新潟市国民健康保険加入者のほか、新潟県後期高齢者医療制度加入者、生活保護受給者等も同様です。
※社会保険加入者の特定健診は加入している保険者が実施します。健康保険証の発行元にお問い合わせください。
(加入手続き中の場合も加入先の保険証の発行元にお問い合わせください。)
※現在通院中の方も対象です。まずは主治医へご相談ください。

特定健診の検査内容

《基本的な健診》

全員実施

- ・問診
 - ・身体計測
身長、体重、BMI、腹囲(後期高齢者健康診査は腹囲測定なし)
 - ・身体診察 ・血圧測定 ・尿検査(糖・蛋白・潜血※)
 - ・血液検査
 - 血糖検査 HbA1c、空腹時または随時血糖
 - 脂質検査 中性脂肪(空腹時または随時中性脂肪)、HDL コレステロール、LDL コレステロール(中性脂肪が400mg/dl 以上または食後採血の場合は Non-HDL コレステロールの測定でも可)、総コレステロール*
 - 腎機能検査 クレアチニン*、eGFR*
 - 肝機能検査 AST、ALT、γ-GT
- ・血清尿酸* ・血清総蛋白*
- ※の検査は、国が定めた特定健診の基本的な健診以外の検査です。(新潟市国保の独自健診項目)

生活習慣病は気づかないうちに進行します。生活習慣病を予防するために毎年健診を受けましょう!



《詳細な健診》

基準に該当し、医師が必要と認めた場合実施

- ・貧血検査・眼底検査・心電図検査(※)
- ※心電図検査は60歳以上で希望される方はお受けいただけます。
ただし、心疾患・高血圧等で治療中の方など医師から検査が必要ないと判断された方は除きます。

生活習慣病の進行



特定健診の受け方

1 受診機関を選ぶ

- この冊子のP14～20の「新潟市特定健診・がん検診委託医療機関名簿【施設検診】」から、受診先を選びましょう。予約が必要な場合もありますので事前に受診先へ電話でお問い合わせください。

2 受診する

- 【持ち物】
- ①同封の受診券
 - ②健康保険証(健康保険証登録したマイナンバーカードも可)
(生活保護受給者の場合は、生活保護受給証明書)
 - ③同封の「質問票」
(特定健診用または後期高齢者健診用)(3枚複写)

質問票はあらかじめ記載のうえ、受診医療機関に提出してください。後期高齢者医療制度に移行された方は、質問票が変更になります。健診を受ける医療機関よりお受け取りください。

特定健診の検査項目以外を実施する場合は、別途料金がかかります。詳しくは受診医療機関にご確認ください。

【自己負担額】

新潟市国民健康保険加入者	40～59歳 500円 ※	新潟県後期高齢者医療制度加入者	無料
	60歳以上 無料	生活保護受給者等	無料

※40～59歳の市民税非課税世帯の方は事前の申請により自己負担が無料となります。詳しくはP2をご覧ください。

- 【受診前の注意】 空腹で採血することが望ましいです。予約の際、受診先にご確認ください。

特定健診を受けていない方、健診結果から治療が必要な方で受診をされていない方へハガキやお電話、訪問等で、受診のご案内をさせていただきますことがあります。



3 結果説明を受ける

受診した医療機関等で健診の結果説明を受けます。

特定保健指導が無料でご利用できます

新潟市国民健康保険加入者で、健診の結果、生活習慣病のリスクが高い場合は、健診を受けた医療機関もしくは区役所から特定保健指導をご案内します。保健師・管理栄養士などが健康づくりをサポートしますので、ぜひご利用ください。

(特定保健指導の対象とならなかった方で、保健師や栄養士などによる相談を希望される場合は、各区の健康相談をご利用いただけます。)

人間ドックを受診される方へ

受診券を利用し受診する場合

人間ドックの検査項目のうち「特定健診」と同一項目の検査について受診券が利用できる医療機関があります。利用可能な医療機関については新潟市ホームページに掲載しています。ホームページをご覧になれない方は、各区役所健康福祉課健康増進係(表紙参照)または保険年金課(P3参照)へお問い合わせください。

予約時

医療機関へご予約の際に受診券が利用可能かご確認ください。人間ドックのコースによっては利用できない場合があります。

受診当日

「特定健診」の受診券を保険証と一緒に持ちください。料金は人間ドック費用から受診券利用分を引いた金額となります。

注意事項

「特定健診」の受診券を利用した受診は年度内に1回のみです。受診券を利用せず人間ドックを受診した場合、受診券利用分の払い戻しはできません。

〈受診券が利用可能な医療機関一覧〉



二次元コードからの読み取りも可能です

受診券を利用せず受診する場合 —新潟市国民健康保険加入者の方—

「特定健診」の受診券を利用せず、人間ドックや職場健診を受診された場合は、健診結果(コピー)の提出にご協力ください。ご提出いただいた結果より、生活習慣病のリスクが高い場合には無料で特定保健指導をお受けいただけます。提出方法は、保険年金課(P3参照)へお問い合わせください。

※健診結果は、本人の健康管理を行うための保健指導や健診データの集約・分析以外の目的では使用しません。

がん検診について

お問い合わせ先 新潟市保健所健康増進課

☎ 025-212-8162

FAX 025-246-5671 (電話でのお問い合わせが困難な方専用)

受診日に必要な持ち物

- 令和6年度受診券
- 健康保険証(健康保険証登録したマイナンバーカードも可)
- 自己負担金(受診券に記載)
- 個人記録票(胃・肺がんの集団検診を受ける場合)

肺がん(結核)検診



1年に1回

胸部X線(レントゲン)撮影

検診車で胸部をレントゲン撮影します。65歳以上の方は、結核検診を受けることが法律で定められています。

集団検診

X線撮影
40歳以上

受診の前にお読みください

- ・同封の「肺がん(結核)検診個人記録票」に必要事項を記入し、検診会場にお持ちください。
- ・他区の会場でも受診可能です。詳しくはお問い合わせください。
- ・個人的に医療機関等で受診する場合は有料となります。

次の方は受診できません

- ・胸部の疾患で受療中の人や経過観察中の人
- ・6か月以内にたんに血が混じったことがある人(医療機関を受診することをおすすめします。)
- ・現在妊娠中、または妊娠していると思われる人

80歳以上の方は、結核を発症する危険性がそのほかの年齢の方に比べて約5倍高くなります。

乳がん検診



女性限定

2年に1回

マンモグラフィ検査(乳房X線撮影)

40歳代は2方向、50歳以上は1方向のみ撮影します。
※70歳以上の方は集団検診での受診となります。

集団検診

40歳以上の偶数年齢

施設検診

40歳～69歳(70歳以上の車いす利用者等)の偶数年齢

奇数年齢でも前年度未受診であれば受診可能です。

受診の前にお読みください

- ・乳房を圧迫して撮影するため、多少の痛みを伴います。生理前は乳房が張ることがありますので、検診を避けることをおすすめします。
- ・検査時に着るカーディガン、バスタオル等をお持ちください。
- ・検診当日は、制汗剤やパウダーなどをつけずに受診してください。パウダー等ががんのサインである石灰化に似て写ることがあります。

次の方は受診できません

- ・豊胸手術(ヒアルロン酸注入含む)を受けた方、妊娠中、授乳中の方。卒乳後6か月経過していれば受診できます。
- ・ペースメーカー、VPシャント、皮下埋め込み型ポート、植込み型除細動器など医療機器が前胸部に入っている方
- ・乳がんの手術後10年以内の方

胃がん検診



検査方法は2種類。
どちらかを選択して受診。

次の方は胃がん検診を受診できません

【X線・内視鏡共通】

- ・胃を全摘した方
- ・妊娠中の方
- ・胃がんで内視鏡切除(ESD)を受けた方(5年間検診の対象外)
- ・胃がんや胃・十二指腸かいよう、ポリープ等で治療中の方

【X線のみ】

- ・ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着している方
- ・検査当日を含め3日間(72時間)以上排便がない方(排便後に受診してください)
- ・腸閉塞になったことがある方
- ・バリウムアレルギーの方
- ・1年以内に消化管、循環器、呼吸器、頭部などの手術や寝台で回転する(体の向きを変える)のに影響がある整形外科系などの手術をした方

【内視鏡のみ】

- ・抗血栓薬(ワーファリン等)服用中の方(少しの刺激でも粘膜から出血を起こす場合があり、止血に高度な技術が必要になるため)

※40歳、45歳、50歳以上の方は施設(医療機関)でも胃がん検診を受診できます。施設検診の利用もご検討をお願いします。

X線撮影(バリウム)検査

バリウム(造影剤)と発泡剤を飲み胃を膨らませてX線撮影をします。

集団検診

40歳以上

施設検診

40歳、45歳、50歳以上

受診の前にお読みください

- ・集団検診を受診する際は、同封の「胃がん検診個人記録票」裏面の注意事項(食事・服薬等の制限事項)をお読みいただき、必要事項を記入して検診会場にお持ちください。
- ・体重130kg以上の方は撮影装置の安全性の問題から検査できない場合があります。
- ・高齢の方は、自覚症状がなくても誤嚥を起こすことがありますので、医療機関での検診をおすすめします。

胃内視鏡(胃カメラ)検査

胃内視鏡(胃カメラ)を挿入して胃内部を観察します。

施設検診

40歳、45歳、50歳以上の偶数年齢

がん検診 当日の受診可否について

当日の問診の結果、体への影響を配慮し受診できない場合がありますのでご了承ください。

検診をする部位の疾患で治療中・経過観察中の方はその検診を受診できません。

また、自覚症状がある方は医療機関での診療を受けてください。(他の部位の検診は受診可)

●がん検診対象者●

40歳以上で、下記のいずれかに該当する方が対象です。

- ☑ 新潟市国民健康保険加入者
- ☑ 新潟県後期高齢者医療制度加入者
- ☑ 生活保護受給者等
- ☑ 職場や被扶養者向けのがん検診の機会がない方

- ・ 職場等で検診の機会がある方、または補助がある方は、新潟市がん検診は受診できません。 検診や補助の有無については勤務先や健康保険証の発行元にお問い合わせください。
- ・ 検診する部位の疾患で治療中、経過観察中、または自覚症状がある場合は受診できません。

大腸がん検診

1年に1回

便潜血検査(2日法)

便に潜む血液の有無を調べる検査(検便)を行います。
食事制限はなく、便の採取は自宅で行うことができます。

施設検診 40歳以上

肝炎ウイルス検査

1度も受けていない方

血液検査 (B型肝炎およびC型肝炎)

血液中のウイルスの有無を検査します。

施設検診 1度も受けたことがない方

子宮頸がん検診



女性限定 2年に1回

子宮頸部細胞診検査

子宮頸部の細胞を採取します。

施設検診 20歳以上の偶数年齢

次の方は受診できません

- ・ 子宮を全摘出した方

奇数年齢でも前年度未受診であれば受診可能です。

ピロリ菌検査

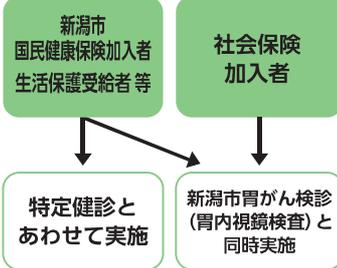
対象年齢で1回のみ

ピロリ菌は、胃に炎症を起こし、胃がん・胃かいよう等の危険因子になります。感染している方のうち胃がんになるのは1~2%です。

血液検査

(胃内視鏡検査または特定健診と同時実施)

施設検診 40歳



次の方は対象外のため受診できません

- ①胃の手術をした方
- ②ピロリ菌の除菌療法を受けた方
- ③抗血栓薬服用者は、検診として胃内視鏡検査は受けられません。
新潟市国保加入者は特定健診と一緒に受けてください。

検査結果が陽性だった場合は医療機関を受診し、除菌治療について相談してください。

除菌が成功しても定期的な胃がん検診は必要です。

前立腺がん検診



男性限定 5年に1回

血液検査(PSA検査)

血液中のPSA(前立腺特異抗原)の濃度を測定します。

施設検診 50歳以上の5歳間隔
(50歳・55歳・60歳…)

がん検診のメリットとデメリット

がん検診を受診するメリットは、早期発見・早期治療につながり、がんで亡くなる可能性を減少させることです。

一方、がん検診にはデメリットがあり、がんでなくても「要精密検査」となることがあります。また、がんが一定の大きさになるまでは発見ができない場合や、検査では見つけにくいがんもあり、すべてのがんが検診で見つかるわけではありません。

しかし、国の指針で定められたがん検診で行われるすべての検査は、がんで亡くなることを防ぐメリットが、デメリットより大きいことが証明されています。早期発見のためには、定期的な受診を続けることが最も大切です。

がん検診で「要精密検査」となった場合の主な精密検査の方法

肺	胸部CT検査もしくは気管支鏡検査などを行います。
胃	胃の内部を内視鏡で詳しく観察し、必要に応じて細胞を採取します。
大腸	大腸の内部を内視鏡で詳しく観察し、必要に応じて細胞を採取します。
乳	マンモグラフィ検査、超音波検査、細胞診、組織診を組み合わせで行います。
子宮頸部	コルポスコープ(腔拡大鏡)下の組織診、細胞診、HPV検査などを組み合わせで行います。

※精密検査結果は、今後の検診の精度を高めるため、市町村、検診機関と共有されます。また、最初に受診した医療機関と異なる医療機関で精密検査を受けた場合は、最初に受診した医療機関にも精密検査結果が共有されます。

集団がん検診について

下記の事項にご協力ください



会場と受診時間

- ・肺がん検診は、混雑緩和のため検診日ごとに対象地区を設定している区もあります。
受診会場は、お住まいの地区での受診にご協力をお願いいたします。
例年、受付開始直後から1時間以内は混み合います。
ご都合のつく方は、それ以外の時間に来場をお願いいたします。
- ・大幅な受付時間前の来場は混雑に繋がります。
ご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

インスリンポンプ・持続グルコース測定器を装着中の方

- ・誤作動の原因となる場合があるため、機器を装着したまま検診は受診できません。
- ・受診の可否、機器の着脱等の注意事項について、事前に主治医にご確認ください。

服装の確認

- ・マスク（可能な限り不織布マスク）の着用をお願いします。
- ・胃・肺がん検診には、無地のTシャツ、ファスナー等の金属やボタンのない服装で来てください。
※上記の服装で来ていただけない方は有料（200円）の検診着に着替えていただきます。
- ・乳がん検診には、バスタオル（カーディガンや上着でも代用可）を必ずお持ちください。
- ・髪の長い人は、背中にかからないようにゴムでまとめてください。



天候や災害等によっては、検診日程が変更または中止になる場合があります。

その場合は市ホームページや区だより等でお知らせしますので、最新の情報をご確認ください。

市ホームページや区だよりをご覧になれない場合は、各区役所健康福祉課健康増進係、または保健所健康増進課にお問い合わせください。

喫煙とがん

喫煙は、肺がんになるリスクを大きく高めます。また、その他のがんや病気についても因果関係があるとされています。がん予防のためにも、禁煙をしましょう。また受動喫煙も肺がんや他の病気の因果関係があるとされていますので、他人のたばこの煙からできるだけ避けるようにしましょう。

「予約制の肺がん・結核検診」について

下記の会場は **予約制のため比較的待ち時間が少なく受診できます。**

検診の日程等詳細は予約の際にご確認ください。受診希望月の1か月前から受け付けますので、各会場の予約先へ直接予約してください。

持ち物：受診券・健康保険証（健康保険証登録したマイナンバーカードも可）・個人記録票（肺がん検診）
 ※下記日程については各施設の都合で変更になる場合がありますので、予約時にご確認ください。

会場：新潟県保健衛生センター 成人病検診センター
 （中央区川岸町2丁目11-11）【JR越後線「白山駅」南口前】

実施日：月・火（祝日は除く、都合により変更の場合あり）

実施期間：令和6年6月～令和7年2月末

予約先：電話で同センター

（平日午前9時～午後4時30分 土日・祝日を除く）

☎025-267-6328

※令和6年8月10日（土）～8月15日（木）

および令和6年12月28日（土）～令和7年1月5日（日）は除く

定員：40名/日



会場：新潟県労働衛生医学協会 新潟健診スクエア（旧新潟ウェルネス）
 （西区北場1185番地3）【小新ICより車で3分】

実施日：水（第2・4・5）・金（祝日は除く、都合により変更の場合あり）

実施期間：令和6年6月～令和7年2月末

予約先：電話で下記連絡先

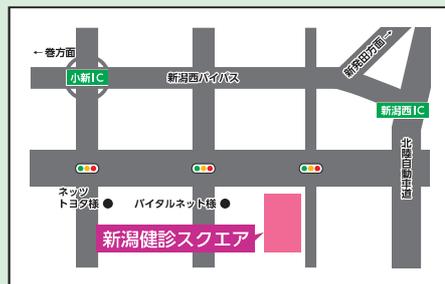
（平日午前9時～午後4時30分 土日・祝日を除く）

☎025-370-1961

※令和6年4月27日（土）～5月6日（月・振休）、令和6年8月

10日（土）～8月18日（日）および令和6年12月21日（土）～令和7年1月5日（日）は除く

定員：30名/日



会場：新潟県労働衛生医学協会 新津成人病検診センター
 （秋葉区程島2009）

実施日：水（第1・3）（祝日は除く、都合により変更の場合あり）

実施期間：令和6年6月～令和7年2月末

予約先：電話で下記連絡先

（平日午前9時～午後4時30分 土日・祝日を除く）

☎025-370-1961

※令和6年4月27日（土）～5月6日（月・振休）、令和6年8月

10日（土）～8月18日（日）および令和6年12月21日（土）～令和7年1月5日（日）は除く

定員：20名/日



令和4年度まで実施していた新潟市医師会メジカルセンターでの胃がん・肺がんセット検診は実施しませんのでご注意ください。

肺がん検診は集団検診のみの実施となりますので、上記施設での検診または各区集団検診で受診をお願いします。

各種検診よくあるお問い合わせ

受診方法

特定健診

がん検診

集団検診について

集団検診日程表

医療機関名簿

歯科健診

受診券について

Q1 住所が変わりました。

市内での転居の場合は、変更手続きは必要ありません。新潟市国保、後期高齢者医療制度にご加入の人は住所変更後の新しい健康保険証をご提示の上、医療機関に新しい住所をお伝えください。市外に転居した場合は受診できません。

Q2 健康保険証が変わりました。手元にある受診券は使えますか？

受診券は ①新潟市国民健康保険、②後期高齢者医療制度、③生活保護、④左記以外の健康保険証に対応しています。健康保険証の種類が変わった場合は変更手続きが必要です。ただし、①から②に変わった場合はそのまま使えます。

Q3 どんな人に受診券が届くの？

Q2の①②③の人に送付しています。Q2の④で送付される人の詳細は受診券の裏面をご確認ください。受診券が届かず、職場等で検診の機会がない人は最寄りの区役所等にご相談ください。

Q4 名前が変わりました。

受診券の変更が必要です。最寄りの区役所にご連絡ください。

Q5 自己負担の免除がありますか？

市民税非課税世帯の人は事前の申請により無料となります。受診日の2週間前までにお住まいの区役所健康福祉課に申請書を提出してください。申請には健康保険証(健康保険証登録したマイナンバーカードも可)が必要です。

特定健診について

Q6 病院で治療中です。特定健診を受けないといけないのでしょうか？

通院されている人も健診の対象者です。かかりつけの医師にご相談ください。健診結果もかかりつけ医師に相談しましょう。

Q7 毎年受ける必要はあるのですか？

生活習慣病の発症を防ぐためには毎年の受診が必要です。自覚症状がない生活習慣病は、健診による健康管理が大切です。

Q8 やせていてメタボではありません。特定健診を受けなくてもよいですか？

やせていても、高血圧や高血糖などになる人もおり、生活習慣病の危険がないとはいえません。今のからだの状態をチェックするために、ぜひ健診を受けましょう。

Q9 社会保険に加入している人の特定健診はどうするの？

特定健診は、加入している健康保険の医療保険者が実施します。健康保険証発行元にご確認ください。

がん検診について

Q10 職場でも検診があるのに受診券が届きました。

職場の検診を受けてください。受ける機会のないがん検診だけ受診できます。職場で胃がんバリウム検査を実施されている場合は、新潟市の胃がん検診(バリウム検査・内視鏡検査)は受診できません。乳・子宮がんは、職場で2年に1回検診がある場合は市の検診は受診できません。職場で検診のない年に市の検診を受診することはできません。

Q11 がん治療中(または経過観察中)ですが受診られますか？

検診をする部位の疾患で治療中・経過観察中の人はその検診を受診できません。(ほかの部位の検診を受診する場合は主治医にご相談ください。)

Q12 検診で要精密検査になった場合の費用の助成は？

精密検査は医療保険の対象となり、市の助成はありません。